

基本目標① 〔雇用創出〕 本市における安定した雇用を創出する

■数値目標

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
1人当たりの市民所得額	1/1～12/31	円	2,620,000	2,634,000 2,644,000	2,641,000 2,777,000	2,648,000 2,787,000	2,655,000 2,824,721	2,660,000 —	達成	新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、岡山県下では雇用面において完全失業率の改善や賃上げの進展が見受けられる。こうした影響もあり市民所得が緩やかに改善したものと考えられる。
市内就業率	国勢調査	%	50.3<H27年度>	51.4 49.3	51.7 —	52.0 —	52.3 —	52.6 —	—	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
市内就業者数	国勢調査	人	27,244<H27年度>	27,233 24,893	27,054 —	26,871 —	26,684 —	26,494 —	—	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)

■重要業績評価指標(KPI)

(1)地元企業等との連携により、若い世代の市内就業を促進する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
新規就農者数	4/1～3/31	人	2	2 3	2 3	2 2	2 0	2 —	目標値は下回るが概ね達成	年度により増減はあるものの、概ね新規就農者を確保できている。国や県の支援制度を活用して、引き続き新規就農者の確保に努める。
市内高等学校卒業就職者の 市内就職率	4/1～3/31	%	47.3	50.0 44.0	50.0 39.5	50.0 32.1	50.0 35.9	50.0 —	未達成	令和2年度から緩やかに減少していたが、県内雇用情勢の改善を受け、令和5年度は増加に転じた。
岡山県求人サイトに登録した 市内企業数	3/31時点	社	—	4 2<R2年度のみ>	8 7<R3年度のみ>	12 7<R4年度のみ>	16 5<R5年度のみ>	20 —	達成	令和2年度からの累計は21社にのぼる。移住支援金に関する問合せも増えていることから、引き続き市内企業へ周知を行っていく。

(2)市内産業の魅力づくりを支援する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
雇用保険被保険者数	4/1～3/31	人	15,464	15,700 15,783	15,750 15,597	15,800 15,249	15,850 15,177	15,900 —	未達成	令和2年度をピークに令和3年度以降減少が続いているが、令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れ、減少幅が縮小した。
市内開業率	4/1～3/31	%	4.72	5.00 3.61	5.00 3.01	5.00 3.51	5.00 —	5.00 —	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響で一時的に減少したが、一定の開業率を維持している。
旅客船寄港回数	4/1～3/31	回	19	20 0	20 0	20 2	20 12	20 —	未達成	コロナ禍の影響により、寄港に至らなかったため、目標未達成となった。
特産品認定件数	4/1～3/31	件 (累計)	12	20 17 (89)	40 2(73)	60 2(75)	80 5 (80)	100 —	未達成	お宝たまの認定制度について、生産者や製造者等へ制度の周知が不足しており、目標未達成となった。

基本目標②「移住・定住」本市への新しいひとの流れをつくる

■数値目標

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
10～20歳代の転出 ※R30の転出超過数220人と 各年度の転出超過数との差	4/1～3/31	人		16	32	48	64	80	達成	目標値は達成したが、未だ転出超過の状況は変わっていないので、引き続き定住促進に尽力する必要がある。
			－	6	－50	70	104	－		
子育て世代(20～44歳)の定住 ※R30の子育て世代4,983世帯 と各年度の世帯数との差	4/1～3/31	世帯		8	16	24	32	40	未達成	目標に対して、大幅な減少傾向にある。希望をもって安心して子育てできるまちの実現を目指して、子育て支援体制の強化を図る必要がある。
			－	－128	－219	－313	－281	－		

■重要業績評価指標(KPI)

(1)地元への定住希望を叶えることで、若い世代の定住人口を増加する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
【再掲】 市内高等学校卒業就職者の 市内就職率	4/1～3/31	％		50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	未達成	令和2年度から緩やかに減少していたが、県内雇用情勢の改善を受け、令和5年度は増加に転じた。
			47.3	44	39.5	32.1	35.9	－		
若者雇用協力企業数	4/1～3/31	社		25	25	30	30	35	未達成	登録数は増加傾向にあるが、目標には届いていないため、引き続き、周知・登録の動機付けの強化が必要である。
				8	12	11	16	－		

(2)移住希望者へのきめ細やかな支援により移住人口を増加する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
認定移住者登録数	4/1～3/31	件 (累計)		20	40	60	80	100	達成	新型コロナウイルス感染症の影響による地方移住への関心の高まりもあり、平成30年度以降の認定移住者登録の累計は184件にのぼる。
			18	15<R2年度のみ>	32<R3年度のみ>	47<R4年度のみ>	54<R5年度のみ>	－		
空家バンク成約件数	4/1～3/31	件 (累計)		8	16	24	36	40	達成	空家の成約件数が伸び悩んだものの、目標値は達成された。さらなる空き家バンク制度の周知を行い、所有者の管理意識向上等図る必要がある。
			5	9	23	36	42	－		

(3)若い世代に伝わる情報発信を効果的に行う

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
市の施策に関する情報が市民 へ提供されていると感じている 市民の割合	市民意識調査	％		63	65	67	68	68	未達成	令和2年度からポイントは減少傾向にある。引き続き広報紙やSNS等の活用により施策の周知を行う必要がある。
			61.2	57.4	57.7	53.5	53.7	－		
SNS登録件数	4/1～3/31	件		6,500	7,000	7,500	8,000	8,500	達成	内容によって有効なSNSを活用し、継続的に発信し続けることで、SNS件数は年々増加しており目標を達成している。
			5,013	7,754	8,973	9,855	10,712	－		
子育て支援センターの園庭開 放来場組数	4/1～3/31	組		3,100	3,300	3,500	3,625	3,750	未達成	コロナ禍の影響により、全面的に中止していた期間があったので、低調に推移しており、目標の達成は困難と見込まれる。
			2,607	0	0	485	1,002	－		

(4)関係人口の創出・拡大を推進し、本市への支援の輪を広げる

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
ふるさと納税寄付額	4/1～3/31	円		100,000,000	105,000,000	110,000,000	115,000,000	120,000,000	達成	すべての年度において、寄付額の実績値が目標値を上回っている。ポータルサイトを追加するとともに、中間事業者との連携による返礼品の拡充や広告実施によるPR等を実施したことが目標達成の要因だと考える。今後も引き続き中間事業者と連携し、返礼品の魅力向上を図るとともに、寄付額増加に向けた手法の検討を行っていく。
			131,677,000	332,379,000	251,754,400	435,615,000	543,737,000	－		
ふるさと人財大使の認定者数	4/1～3/31	人 (累計)		2	4	6	8	10	未達成	コロナ禍の影響により、事業開始に至らなかったため目標未達成となった。
				0	0	0	0	－		

基本目標③〔結婚・出産・子育て〕若い世代の結婚・出産・子育ての希望を叶える

■数値目標

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
合計特殊出生率	人口動態保健所・市町村別統計(厚生労働省)	－		1.53	1.55	1.57	1.59	1.62	未達成	令和2年度から3年度にかけて微増しているが、令和元年度以前と比較すると大幅に減少している。子育て世代への支援体制の強化を図り、希望をもって安心して子育てできるまちを実現する必要がある。
			1.44<H28年度> 1.47<H29年度> 1.43<H30年度>	1.21	1.30	－	－	－		
女性の市内就業率	国勢調査	％		42.0	42.3	42.6	42.9	43.2	－	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
			41.8<H27年度>	42.0	－	－	－	－		
女性の市内就業者数	国勢調査	人		11,577	11,514	11,449	11,382	11,313	－	(国勢調査の結果が出ないため分析不能)
			11,833<H27年度>	11,030	－	－	－	－		

■重要業績評価指標(KPI)

(1)若い世代の交流を支援することにより結婚しやすい環境をつくる

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
民間の協力事業者の数	4/1～3/31	店舗		－	－	－	－	100	未達成	事業認知度の低さから、協力事業者数は伸びていない。事業周知を引き続き行うとともに、登録事業者に登録することのインセンティブを検討する必要がある。
			－	0	0	5	5	－		

(2)安心して出産・子育てができる環境づくりを推進し、出生率の向上を目指す

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
子育ての環境が整っていると 感じている市民の割合	市民意識調査	％		62.0	64.0	66.0	68.0	70.0	未達成	子育ての環境が整っていると感じている市民の割合は、令和2年度から減少を続けている。今後も子育て支援体制の強化を図り、子育て環境の魅力向上を目指していく。
			60.5	59.2	55.0	47.9	41.0	－		
この地域で子育てをしたいと思う 親の割合	乳幼児健康診査	％		98.0	98.5	98.5	99.0	100.0	目標値は下回るが概ね達成	この地域で子育てをしたいと思う親の割合は、毎年高い水準で回答を得られているが、今後も子育て環境への満足度Upにつながるような仕組みづくりが必要である。
			95.6	96.8	96.5	96.0	95.0	－		

(3)ワークライフバランスの向上に資する支援を進める

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
子育てファミリーサポートセン ターの提供会員数	4/1～3/31	人		135	135	135	135	135	未達成	新型コロナウイルス感染症の流行を機に近年は提供会員数が減少し ている。
			135	110	110	105	112	－		
放課後児童クラブにおける待 機児童数	4/1	人		0	0	0	0	0	達成	入所要件を満たす希望者全てを受け入れているため、待機児童は 発生していない。
			0	0	0	0	0	－		
病児保育事業の年間延べ利 用者数	4/1～3/31	人		253	253	252	251	249	未達成	新型コロナウイルス感染症の流行を機に、近年は利用数が大きく減 少していたが、令和5年度には増加が見られた。
			236	47	58	26	120	－		

(4)子どもたちの健全な育成を推進し、子育て世代に支援される教育環境を構築する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
「地域や社会をよくするために 何をすべきか考えたことがあ る」小学生の割合	全国学力学習 状況調査	%		45.0	50.0	55.0	57.0	60.0	達成	令和2年度～令和5年度の期間は、コロナ禍で地域での様々な行事 や活動等が中止となり、地域や社会とかかわる機会がほとんど無かつ たり、少なくなったりしたため、地域や社会への児童の関心が低下し たと考えられる。また、令和5年度途中から少しずつ行事や活動が再 開されたことから、児童の意識も向上しており、今後のさらなる伸びが 期待できる。小学生・中学生の数値は異なるものの、状況や傾向は 中学生も同様である。
			41.7	62.2 ※全国調査中止のため、岡山県学力学習状 況調査の結果	45.8	53.6	77.5	－		
「地域や社会をよくするために 何をすべきか考えたことがあ る」中学生の割合	全国学力学習 状況調査	%		45.0	50.0	55.0	57.0	60.0	達成	
			42.8	48.0※同上	39.8	41.9	58.7	－		
カウンセラー(スクール、保育) 延べ相談件数	4/1～3/31	件		2,420件 内、スクール2,200件 保育220件	2,800件 内、スクール2,300件 保育500件	2,800件 内、スクール2,300件 保育500件	2,800件 内、スクール2,300件 保育500件	2,800件 内、スクール2,300件 保育500件	達成	公認心理師等の心の専門家をカウンセラーとして全校園に配置し、 多様な内容に応じた相談支援の推進や個に応じたきめ細やかな支 援体制の充実を図っている。子どもや保護者、教員らのカウンセラー の相談ニーズは年々高まっており、各校園において相談件数が増加 傾向にあるが、年度により多少の変動はある。相談件数については、 解決・改善した場合もあるため、相談件数の増減等数字だけ見るの ではなく、相談内容や状況等の把握や確認が必要である。
			2,323件 内、スクール2,120件 保育203件	3,024件 内、スクール2,450件 保育574件	2,649件 内、スクール2,167件 保育482件	2,969件 内、スクール2,589件 保育380件	2,821件 内、スクール2,267件 保育554件	－		
企業見学実施件数	4/1～3/31	件		64	64	64	64	64	未達成	コロナ禍の令和2年度は様々な行事や教育活動が中止・縮小となっ たため、実施件数は激減したが、その後少しずつ活動が再開し、実 施件数も増加している。令和5年度の段階では、目標達成見込みは 厳しいものの、実施数も増加傾向でコロナ前に戻りつつある。さらに、 実施方法や活動内容等工夫するなど活動の充実が図られ、実施件 数等数値には表れない面での成果も見られた。
			54	21	52	54	58	－		
子どもの学校(園)での教育に 満足している市民の割合	市民意識調査	%		63.0	64.0	65.0	66.0	67.0	未達成	令和3年度以前は6割前後で推移していたが、近年は大幅に減少傾 向にある。満足度向上のため、より一層、教育の充実を図る必要があ る。
			60.6	59.8	61.9	49.8	44.3	－		

基本目標④ [まちづくり・地域間連携] 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

■数値目標

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
今後も本市に住み続けたいと思う市民の割合	市民意識調査	％		75.8	76.6	77.4	78.2	79.0	目標値は下回るが概ね達成	一貫して7割前後で推移しているが、目標達成には至っていない。引き続き、誰もが行ってみたい、住み続けたいまちを目指して施策を進めていく必要がある。
			74.2	69.9	71.6	72.2	70.9	－		

■重要業績評価指標(KPI)

(1) 公共施設の再編整備や利便性の高い地域公共交通の充実等を進めることにより時代に合った公共サービスを提供する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
公共施設の床面積削減率	4/1～3/31	％		5.1	5.7	6.4	7.1	7.7	達成	公共施設の床面積削減率は、令和5年度が7.86％と、前年度と比較して2.6ポイント増加し、現時点で令和6年度目標値を達成している状況である。しかしながら、「玉野市公共施設等総合管理計画」に定めている36％の床面積削減を達成するためには、「玉野市幼保一体化等将来計画」や現在策定に向けて検討している「玉野市立学校適正規模化計画」、「市営住宅長寿命化計画」に基づき、着実に削減を進める必要がある。併せて、用途廃止した公共施設の利活用を進めるため、「玉野市未利用地の利活用に関する方針」に基づき、市として利用する予定のない施設は処分を進める。
			3.7	7.7	7.2	7.6	7.86	－		
公共交通運営事業利用者数	4/1～3/31	人		119,500	119,500	119,500	119,500	119,500	目標値は下回るが概ね達成	公共交通運営事業利用者数は、コロナ禍から回復傾向となっており、令和4年度以降はコロナ禍前の令和元年度と同水準の利用者数を確保したことから、目標達成見込は「目標値は下回るが概ね達成」の状況である。計画期間を通して、移動需要や利用状況に応じた効果的なルート・ダイヤの見直し等に取り組み、利便性の向上を図ったことで、利用者数の増加に至った。
			124,363	94,049	95,117	117,775	112,352	－		

(2) 誰もが活躍できる地域社会を実現する

指標名	期間(時点)等	単位	上段＝目標値／下段＝実績値						目標達成 見込	現状分析等
			H30年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
障害者スポーツイベント等への延べ参加者数	4/1～3/31	人		300	315	330	345	360	未達成	玉野市総合体育館を拠点に関係機関等と連携を図りながら障害者スポーツイベントを実施したが目標に届かなかった。
			275	136.0	519	360	320	－		
スポーツ教室等の延べ利用者数	4/1～3/31	人		27,000	27,100	27,200	27,300	27,400	達成	スポーツ教室(メニュー)の充実に加え、新型コロナウイルス感染症の影響も減少し、利用者が増加したものと考えられる。
			26,433	19,754	22,354	27,736	28,175	－		
この1年間で生涯学習を行った市民の割合	市民意識調査	％		33.5	34.0	34.5	35.0	35.5	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響により、目標については未達成となったが、割合は回復傾向にある。
			27.2	19.2	19.5	19.0	23.1	－		
健康マイレージ応募者数	4/1～3/31	人		1,200	1,215	1,230	1,245	1,260	未達成	参加者からは好評であり、市民の健康づくりにつながっているが、目標には届いていないため、全体の参加者数を増やす必要がある。
			1,171	733	778	870	776	－		

＜目標達成見込集計＞

達成	13	(31.7%)
目標値は下回るが概ね達成	4	(9.8%)
未達成	20	(48.7%)
－	4	(9.8%)
計	41	